



2025年7月16日

会社説明会資料

株式会社ライフコーポレーション

東証プライム / 証券コード 8194



1. ライフコーポレーションとは？
2. 当社の強み
3. 中期経営計画
4. 2025年度の業績予想
5. 資本政策・株主還元



1. ライフコーポレーションとは？

ライフコーポレーションとは？

会 社 名	株式会社ライフコーポレーション
所 在 地	本店・大阪本社 : 大阪府大阪市 東京本社 : 東京都品川区
設 立	1956年 (ライフコーポレーションの母体となる「清水實業株式会社」の設立)
代 表 者	代表取締役社長執行役員 岩崎 高治
資 本 金	100億4百万円
事 業 内 容	スーパーマーケット事業
従 業 員 数	52,887人 (2025年2月期)
連 結 子 会 社	株式会社ライフフィナンシャルサービス (カード事業)

スーパーマーケットとは？

日本における食品小売の市場規模

約50兆円

(総務省の家計調査から推計)

スーパーマーケットの機能

- 1 チェーンストアオペレーション
- 2 セルフサービス
- 3 ワンストップショッピング

スーパーマーケットは将来にわたって、
必要な存在であり続ける

ライフコーポレーションとは？

1

食品スーパートップクラス

売上高8,000億円超

2

首都圏・近畿圏

316店舗

3

豊富な独自商品

近畿圏

170店舗

首都圏

146店舗



2大商圈で店舗展開

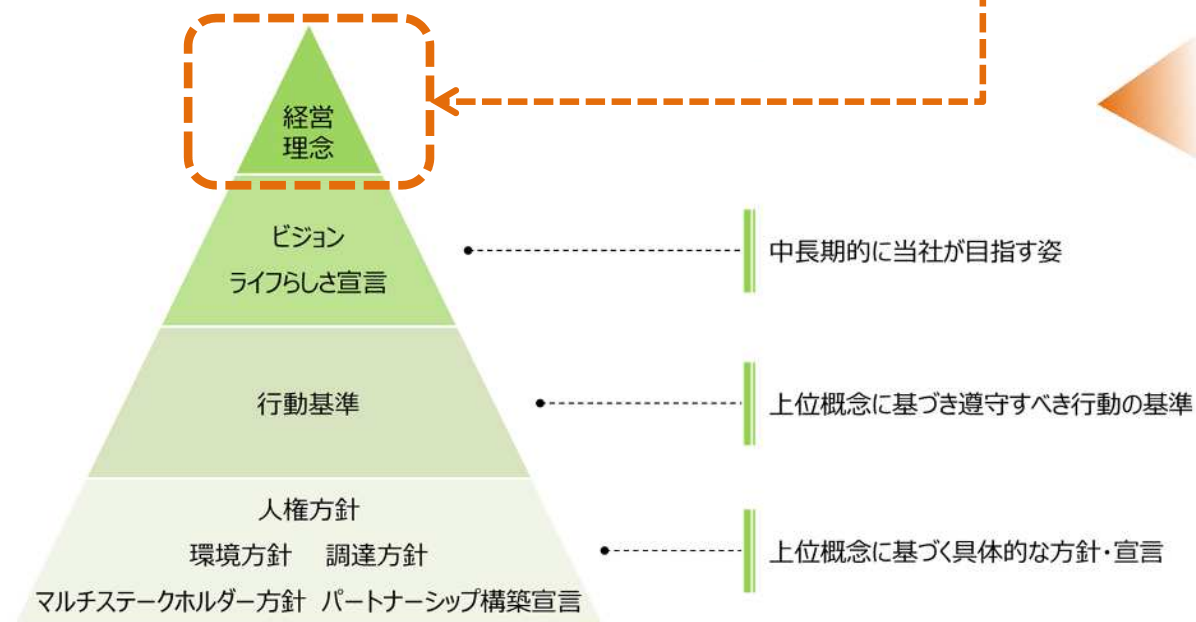


ライフの思い

経営理念

**「志の高い信頼の経営」を通じて
持続可能で豊かな社会の実現に貢献する**

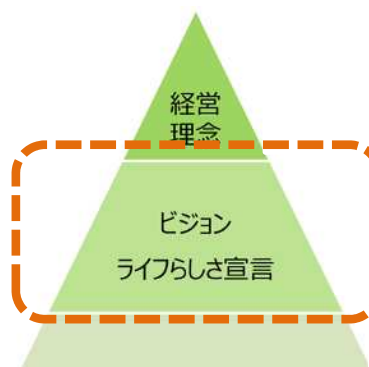
当社の基本となる考え方、
存在意義



ライフの思い

ビジョン

**ライフ全店舗がお客様から
『最も信頼される地域一番店』になる。
『信頼』とは、『信用』されて『頼り』にされること。
『お客様からも社会からも従業員からも
信頼される日本一のスーパーマーケット』を目指す**



中長期的に当社が目指す姿

ライフコーポレーションの歴史



1961年

ライフ1号店の出店

1971年

首都圏初の出店

1993年

怒濤の出店開始

2023年

300店舗達成



豊中店



板橋店

1993年～2000年
出店数

131店舗



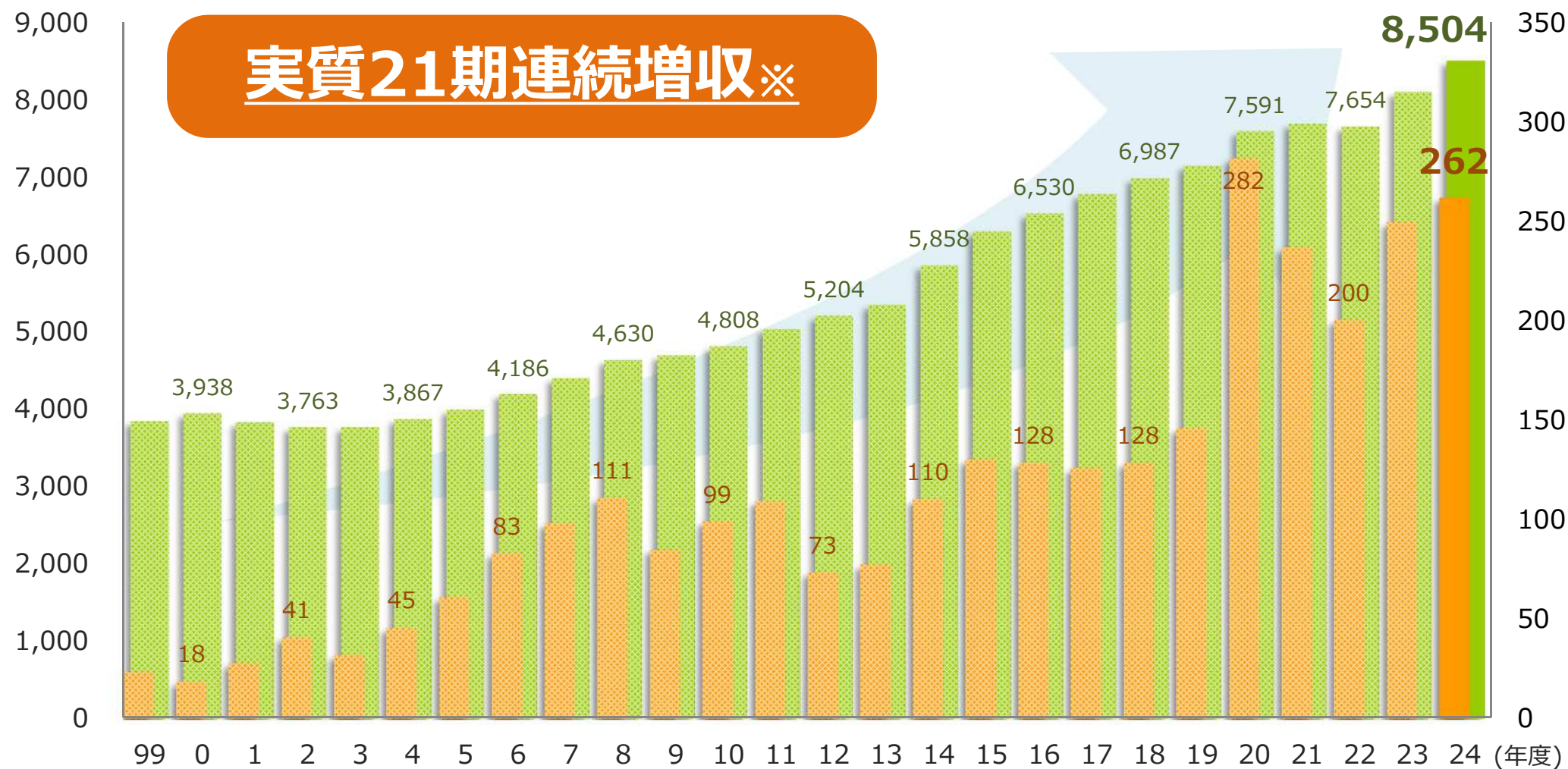
セントラルスクエア
ららぽーと門真店

営業収益・経常利益 推移

(単位：億円)

■ 営業収益 ■ 経常利益

(単位：億円)



※2022年度より「収益認識に関する会計基準」を適用（適用前営業収益：7,856億円）

2024年度の業績概要（損益計算書）

	2024年度通期	増減額	増減率
営業収益	8,504億円	+ 407億円	+ 5.0%
売上高	8,188億円	+ 388億円	+ 5.0%
営業利益	252億円	+ 11億円	+ 4.8%
経常利益	262億円	+ 12億円	+ 5.0%
当期純利益	179億円	+ 10億円	+ 6.0%

2024年度の業績概要（貸借対照表）

	2024年度末	増減
流動資産合計	963億円	+134億円
現金及び預金	83億円	▲2億円
たな卸資産	303億円	+21億円
売掛金	185億円	+90億円
未収入金	344億円	+23億円
その他	46億円	+1億円
固定資産合計	2,096億円	+53億円
有形固定資産	1,613億円	+50億円
無形固定資産	58億円	+3億円
投資その他の資産	424億円	▲0.2億円
資産合計	3,060億円	+188億円
負債合計	1,675億円	+173億円
有利子負債	710億円	+179億円
純資産合計	1,384億円	+15億円
負債・純資産合計	3,060億円	+188億円

部門別売上高

生活関連用品

693億円



一般食品

3,669億円



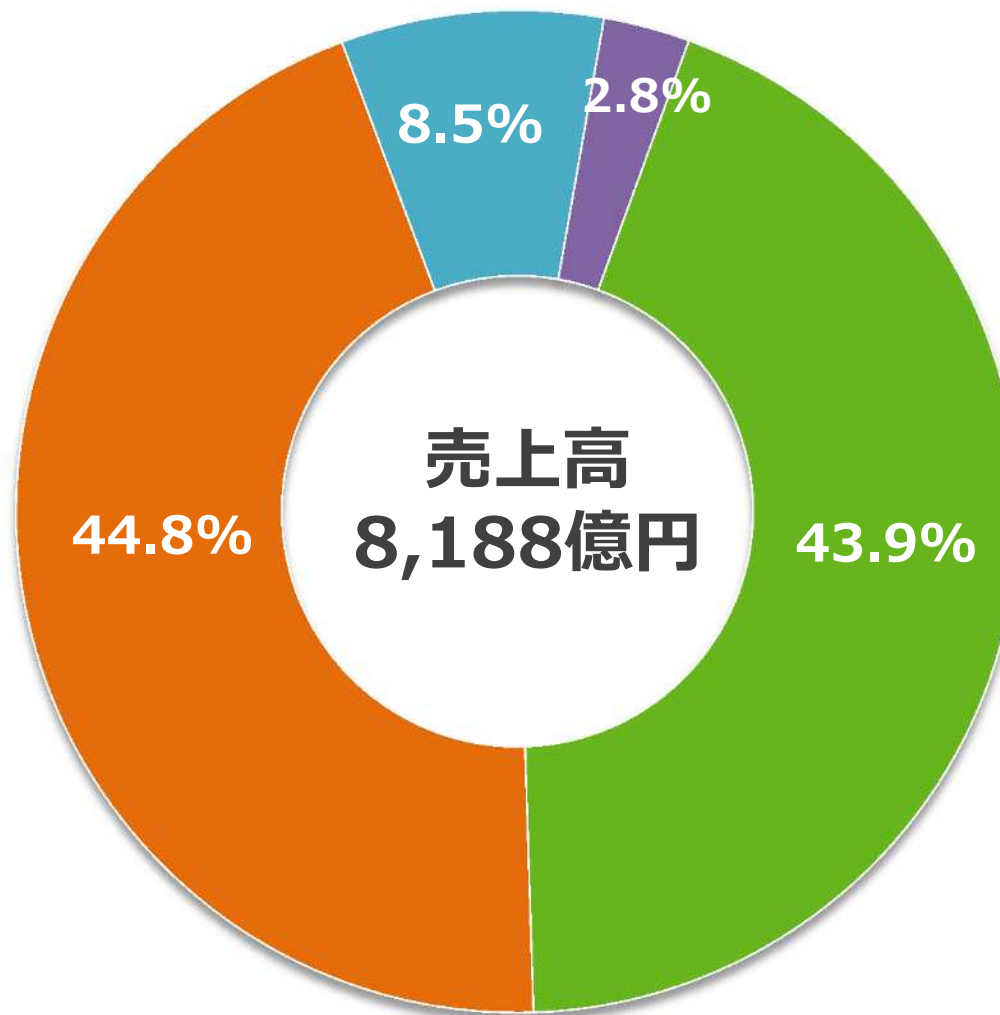
衣料品

228億円



生鮮食品・惣菜

3,597億円



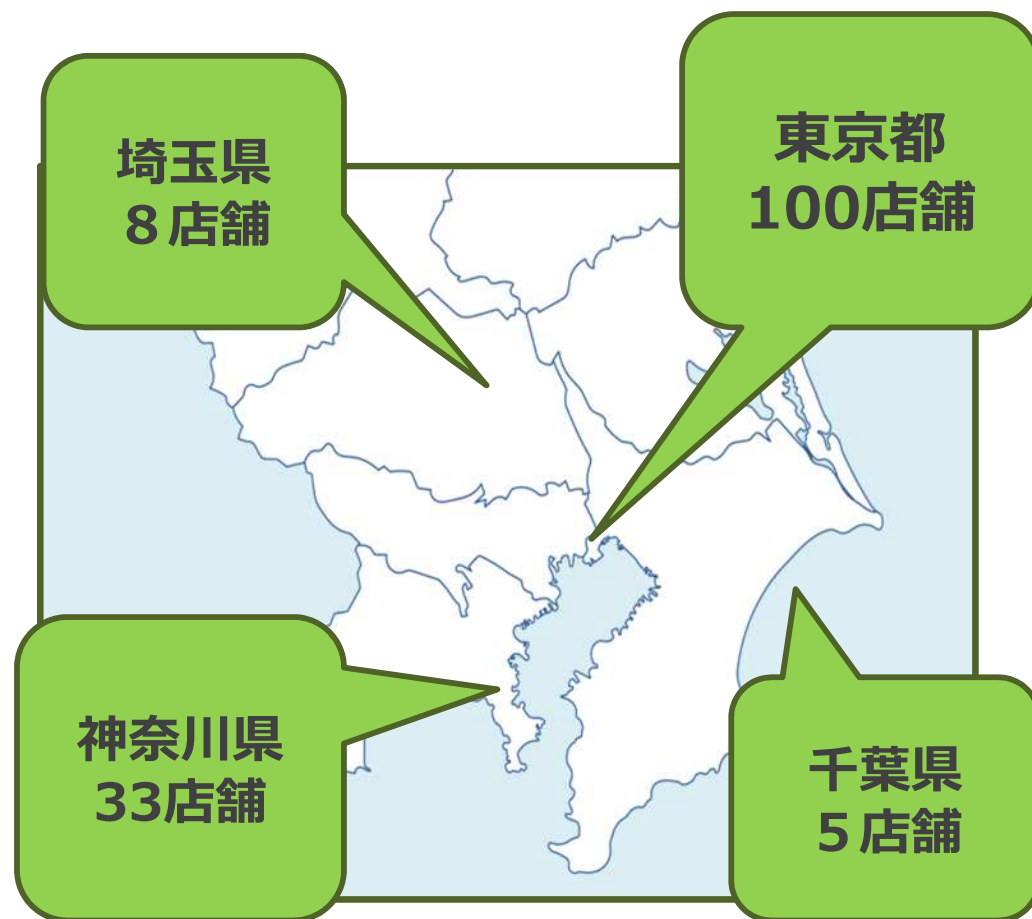
2. 当社の強み

① 首都圏と近畿圏への集中出店

人口密集地における
ドミナント戦略

316店舗

(2025年6月末現在)



① 首都圏と近畿圏への集中出店（マルチフォーマット）

お客様のニーズに合わせたマルチフォーマット戦略

ライフ



■ ライフの最も標準的な業態

セントラルスクエア



■ 「日々の買い物を便利から楽しいへ」がコンセプトのライフスタイルストア

ビオラル



■ 「オーガニック、ローカル、ヘルシー、サステナブル」がコンセプトのナチュラルスーパーマーケット

ミニエル



■ 都心特化型の小型スーパーマーケット

②店舗を支えるインフラ機能

● = 物流センター

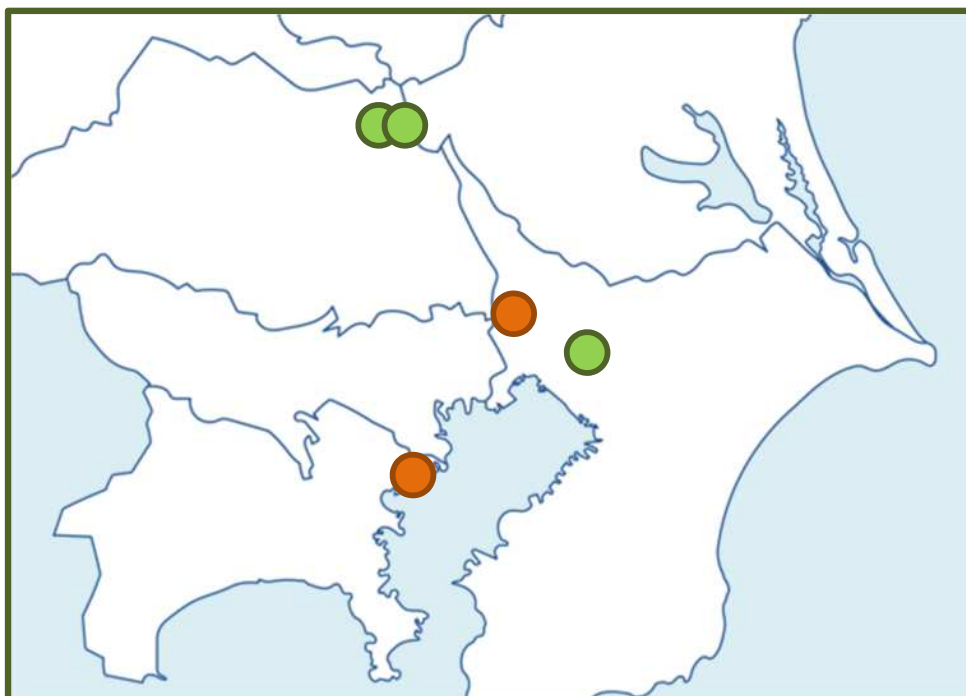
● = プロセスセンター

物流センター

集荷・配送を一元的にコントロールし、高い配送効率を提供

プロセスセンター

生鮮食品と惣菜の商品を加工・生産。店舗の①品揃え充実②生産性向上に貢献



②店舗を支えるインフラ機能（センターによる生産支援）

品揃え充実/生産性向上

生鮮食品の加工



弁当・惣菜の生産



センター独自の強みを生かした商品

専用機器の活用/独自性の高い商品



サテライトキッチンの活用

「できたて」商品の提供



③ 独自商品と豊富な品揃え（4つのプライベートブランド）

お手頃価格

スマイルライフ

健康・自然志向

ビオラル



お手頃価格

スターセレクト

素材・製法にこだわり

ライフプレミアム



<売上高（合計）>

800億円

（前年同期比106.4%）

<売上高構成比>

9.7%

③ 独自商品と豊富な品揃え（独自の生鮮食品・惣菜）

伊勢黒潮まだい



ポイント

- ① ライフオリジナル商品
- ② 「生魚」として国内初の機能性表示食品

LIFEオリジナル



伊勢
黒潮まだい
ISE KUROSHIO MADAI



中性脂肪を
低下させる



から揚げ



ポイント

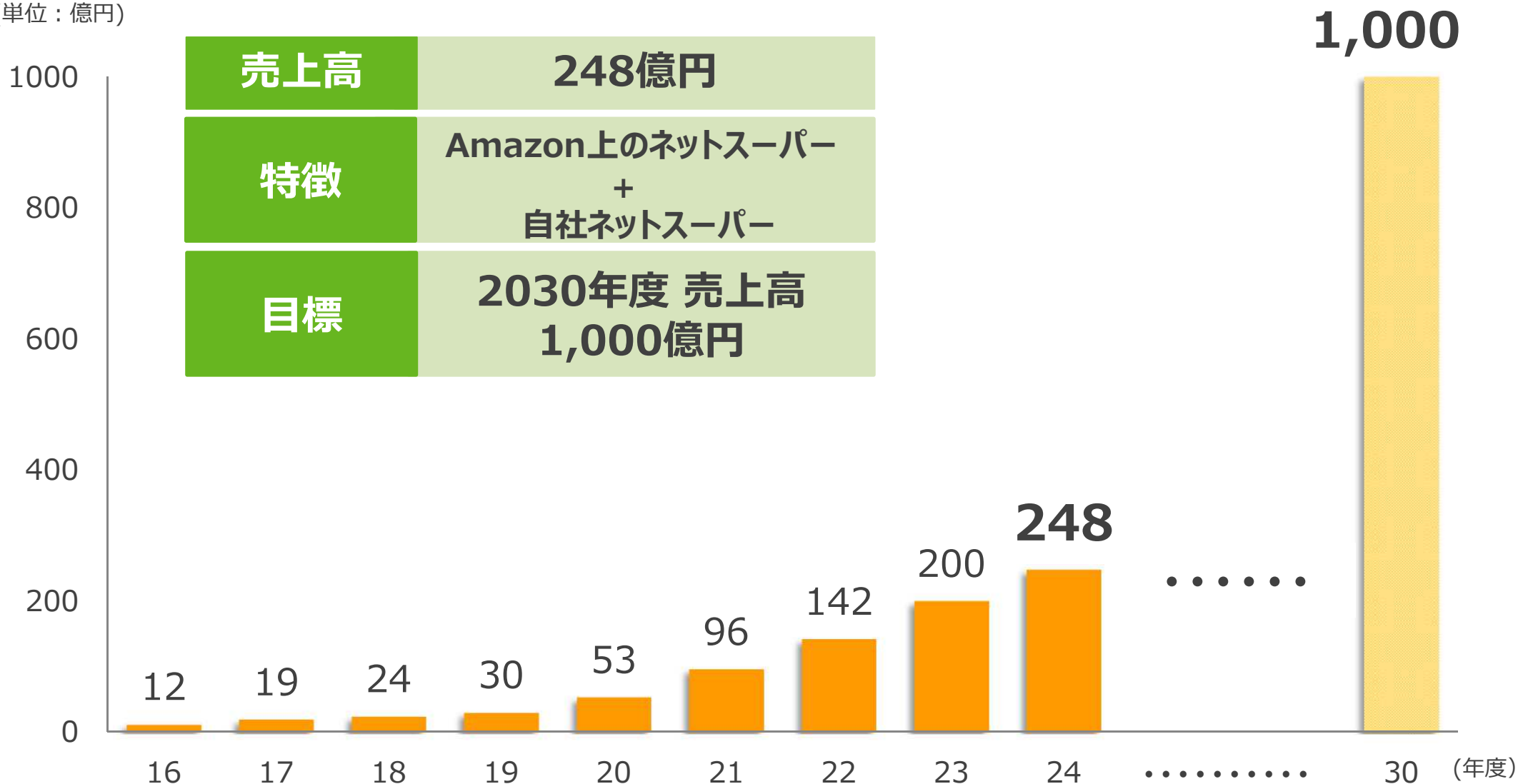
- ① 地域のニーズに合わせた、こだわりの味付け
- ② おいしさが評価され、唐揚げグランプリW受賞

東日本部門
「純和赤鶏むね塩唐揚げ」

中日本部門
「ゆず香る九州産どりの
むね塩唐揚げ」

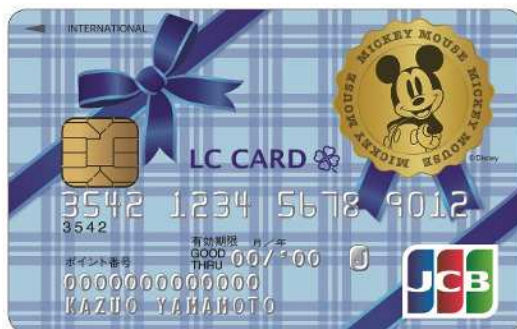
④利便性を提供するサービス（ネットスーパー事業）

(単位：億円)



④ 利便性を提供するサービス（カード事業）

クレジットカード



LC JCBカード
(ディズニー・デザイン)
©Disney



LC JCBカード
(通常デザイン)

電子マネー



LaCuCa

会員数**59万人**※

会員数**544万人**※

1

お客様への
利便性の提供

2

ポイントカード情報を
活用したマーケティング

3

キャッシュレス
決済手数料の抑制

※ 2025年2月末の会員数

⑤ お客様のニーズを店づくりに活かすノウハウ

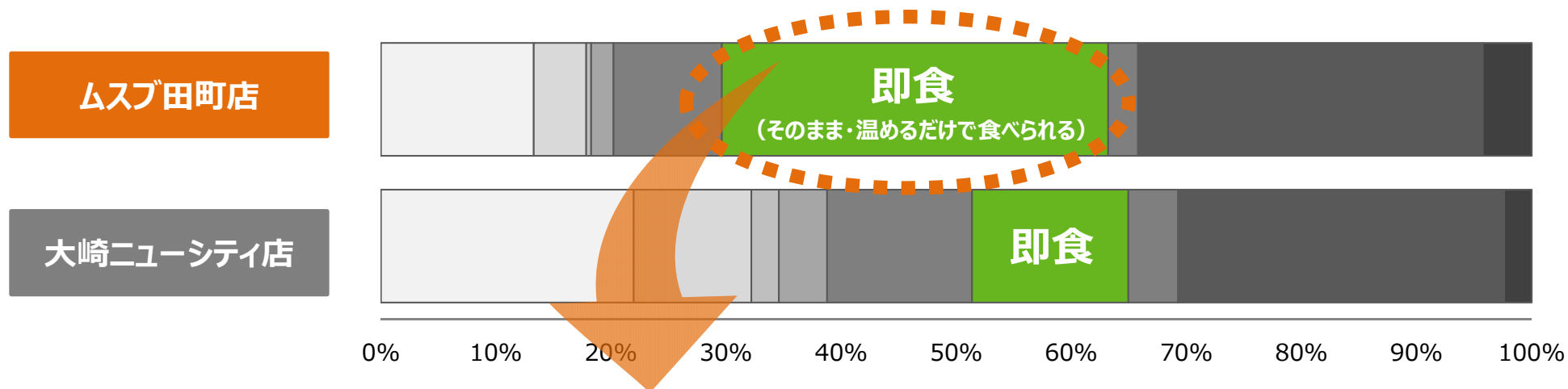
お客様の特性を**9つのクラスターに分類し**、店舗ごと戦略案を策定

	お客様の特性（クラスター）								
	1	2	3	4	5	即食	7	8	9
A店		●	●						●
B店				●	●				
C店						●	●		

地域のお客様ニーズに即した
売場配置・品揃え・価格設定を実現

⑤お客様のニーズを店づくりに活かすノウハウ

(例) 同じ駅前立地でも、地域ごとに異なるニーズ



1 入口付近に即食品を設置

2 豊富な惣菜の品揃え

3 サテライトキッチンで生産支援



3. 中期経営計画

中期経営計画策定の意義

中期経営計画策定開始

+

風土改革

権限委譲

ボトムアップ

自分事化

年度	1998～ 2001	2002～ 2004	2005～ 2007	2008～ 2011	2012～ 2014	2015～ 2017	2018～ 2022	2023～ 2026
中期経営 計画	未策定	第一次	第二次	第三次	第四次	第五次	第六次	第七次
売上高 平均/年	3,702 億円	3,701 億円	4,082 億円	4,657 億円	5,312 億円	6,351 億円	7,182 億円	7,994 億円※
経常利益 平均/年	23億円	39億円	80億円	100億円	86億円	127億円	198億円	255億円※

2倍

10倍

※2023～2024年度の平均値

2030年度に目指す姿

定性目標

ライフは地域密着のスーパーマーケットとして、
皆様に『私のスーパーマーケット』
と言っていただける会社になる

定量目標（抜粋）

売上高

1兆円

経常
利益

350億円

純利益

220億円

CO₂
排出量

50%減
(2013年度比)

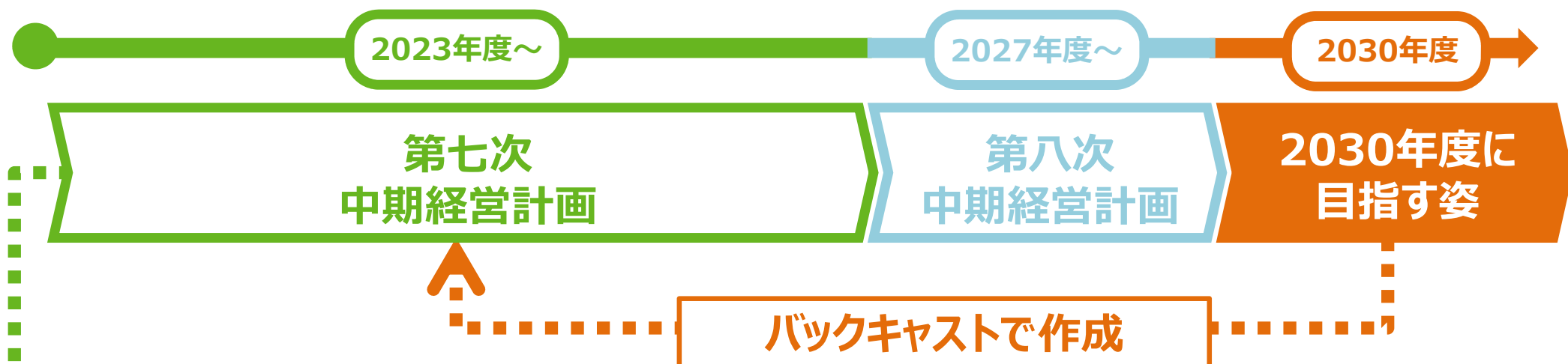
従業員
満足度

4.0
(5.0満点)

女性
管理職比率

20%

第七次中期経営計画



主要テーマ

1

人への投資

2

同質化競争からの脱却

3

持続可能で豊かな社会の実現に貢献

4

カイゼン活動

主要テーマ1「人への投資」

人財戦略



従業員の
成長

ダイバーシティ



生産性の高い
働き方

健康経営



ES向上

ライフで
働きたい
働き続けたい



主要テーマ1「人への投資」

積極的な処遇改善

2024・2025年度
過去最大規模の賃上げ

正社員

5%

パートナー
社員

6%

成長が実感できる教育

次代の管理職候補の育成

応募制研修の拡大

経営幹部の教育

修了者 300名超

主要テーマ2「同質化競争からの脱却」



『特売やポイント特販だけ』の集客

主要テーマ2「同質化競争からの脱却」



The image displays the BIO-RAL brand identity. At the top, the text "Natural Supermarket" is written in a white, sans-serif font on a dark background. Below it is a decorative horizontal line with a series of white 'V' and 'O' shapes. The brand name "BIO-RAL" is prominently featured in large, bold, white capital letters. Underneath "BIO-RAL" is another decorative horizontal line with wavy and vertical patterns. At the bottom, the word "LIFE" is written in a smaller, white, sans-serif font. Below the logo, there is a dark horizontal bar divided into four equal sections, each containing a white word: "Organic", "Local", "Healthy", and "Sustainable".

Natural Supermarket

V V V V V O O O O O

BIO-RAL

LIFE

Organic Local Healthy Sustainable



主要テーマ2「同質化競争からの脱却」

ビオラル事業 2030年度の目標

売上高

400億円

100億円超

ビオラル
店舗数

50店舗

12店舗

PB商品
アイテム数

1,000アイテム

500アイテム超

商品力
強化

人財育成

店舗拡大

ブランディング

主要テーマ 3「持続可能で豊かな社会の実現に貢献」

2018年度

- 調達方針を策定
(人権・コンプライアンス含む)

2021年度

- 経営理念を改定
(サステナビリティの考え方を統合)
- 行動基準、環境方針
調達方針を改定
(経営理念に合わせて改定)

2022年度

- マテリアリティの特定
- TCFD賛同・
情報開示開始
- サステナビリティ
推進委員会を設置

2023～2024年度

- 人権方針を制定
- 第三者検証を開始
(CO2排出量開示の信頼性確保)
- 人権デュー・ディリジェンス
体制の構築・運用開始

子供食堂への寄付



出前授業/食育イベント

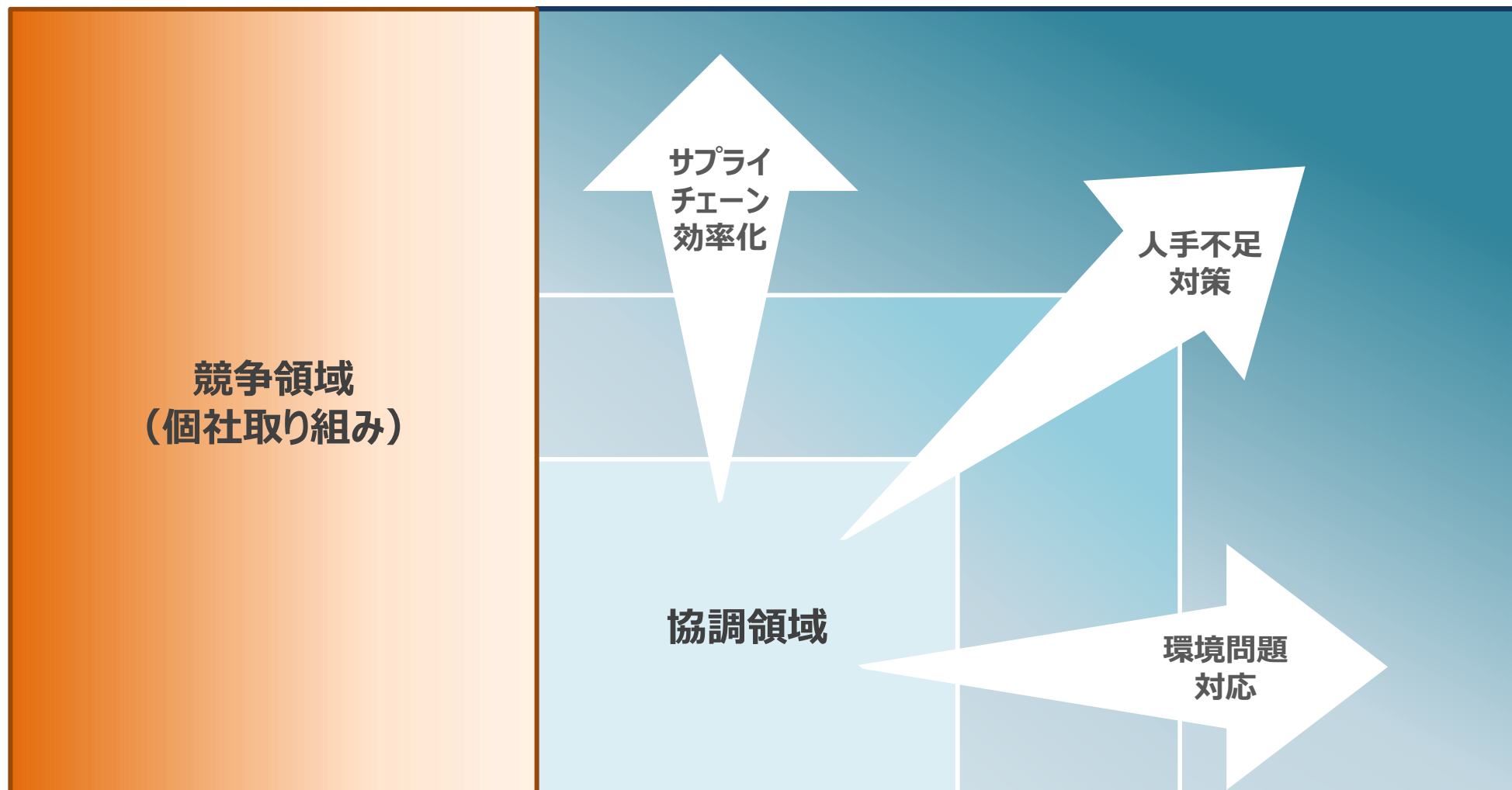


主要テーマ 3「持続可能で豊かな社会の実現に貢献」

競争領域



協調領域



主要テーマ 3「持続可能で豊かな社会の実現に貢献」

SM物流研究会

物流危機を回避するため、SM業界が協調



テーマ別 分科会

パレット納品

共同配送

生鮮物流

チルド物流

+

荷待ち・荷役作業時間等の削減

バイオガス発電設備

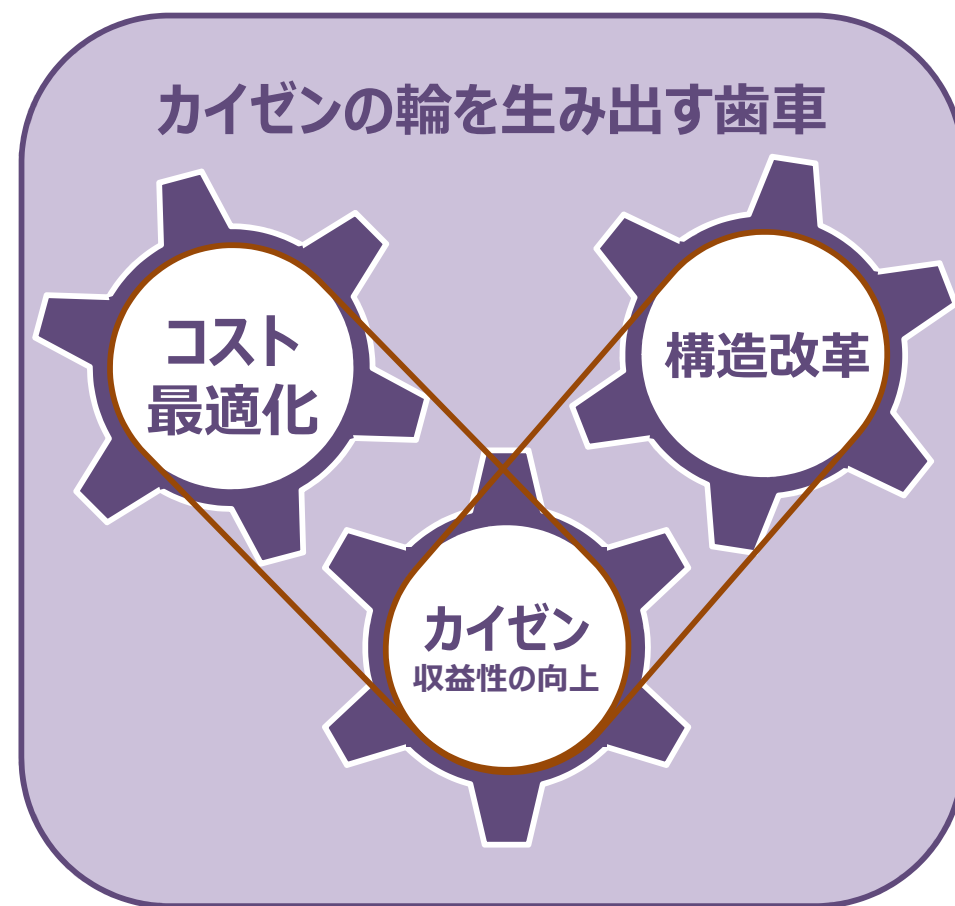
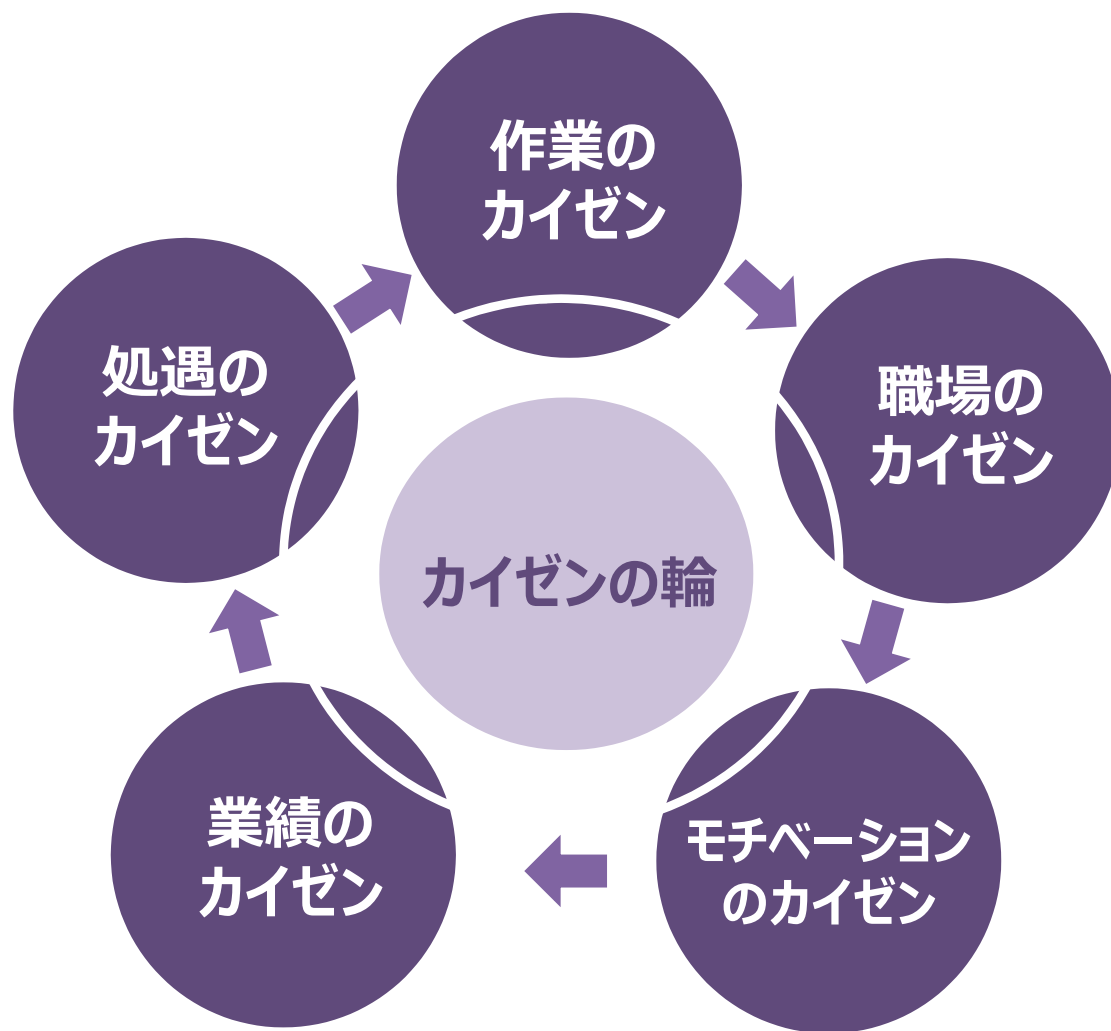
成功事例の積極的な発信・共有



① 食品廃棄物削減

② 発電(創エネ)

主要テーマ4「カイゼン活動」



主要テーマ4「カイゼン活動」

取り組みの水平展開

『スマイルワークショップ』

近畿圏



首都圏



テーマ

- 生産性向上
- コスト最適化

目的

店舗における好事例
の水平展開

具体例

陳列作業の
効率化

従業員の
多能化

電子棚札導入効果
の有効活用

廃棄ロスの削減

4. 2025年度の業績予想

2025年度通期 業績予想（連結）

単位：百万円、%	2025年度通期	増減額	増減率
営業収益	8,850億円	+ 345億円	+ 4.1%
売上高	8,520億円	+331億円	+4.0%
営業利益	257億円	+4億円	+1.7%
経常利益	265億円	+2億円	+1.1%
当期純利益	180億円	+0.5億円	+0.3%

投資計画

単位：百万円	2024年度通期	2025年度通期	主な内容
新店投資	95億円	55億円	新店5店舗
改装投資	11億円	33億円	改装9店舗
システム投資	43億円	61億円	電子棚札導入拡大 レジ関連設備 等
センター投資	23億円	26億円	生産設備 等
その他 (高額備品・大修繕 等)	77億円	37億円	既存店設備 等
合計	250億円	212億円	

5. 資本政策・株主還元

株主還元方針

2023年4月10日発表

当社は2030年度を見据えた財務基盤の強化と
今後の事業展開を総合的に勘案し、

配当性向30%

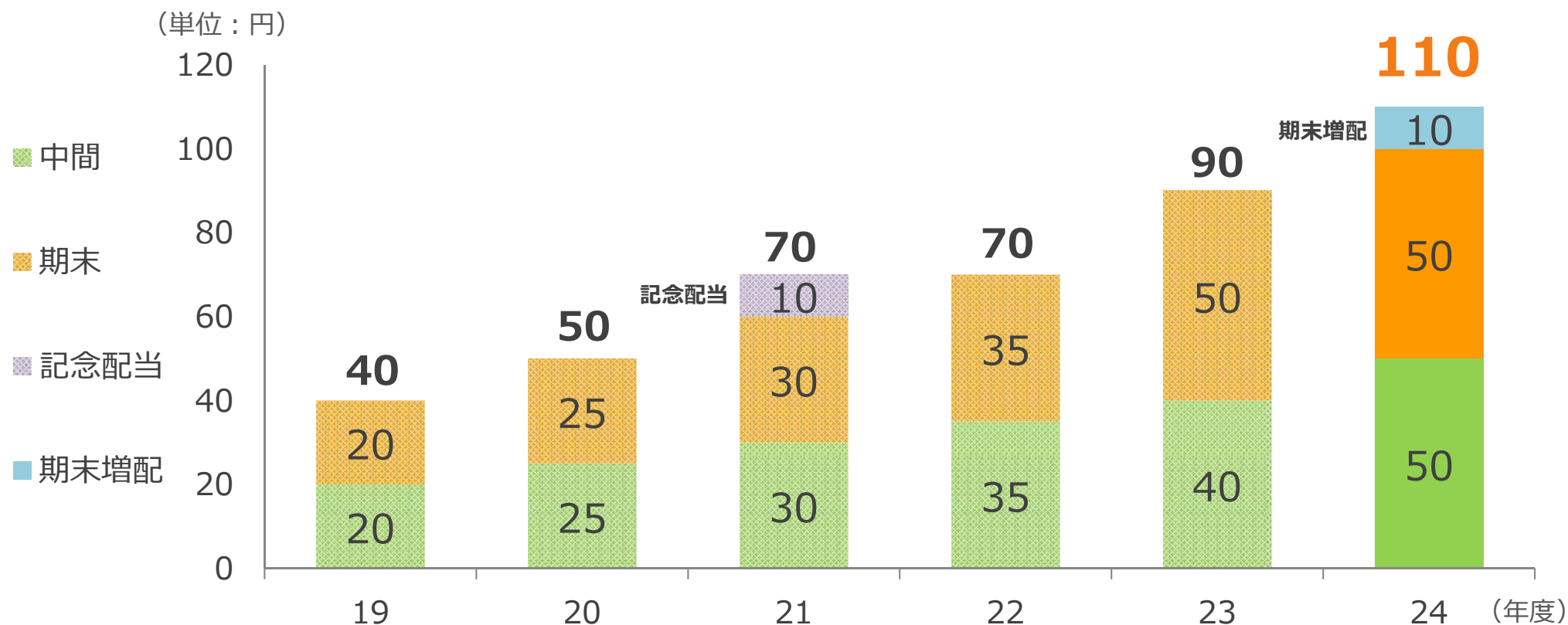
を目安に配当をおこなうことを基本としつつ、

株主資本配当率(DOE)3%

水準での安定的な配当の継続にも留意いたします。

配当金の推移（2024年度までの実績）

- 2024年度：期末配当を＋10円/株と増配し、年間配当は**過去最高の計110円/株**
自己株式の取得および公開買付の結果と合わせ、**総還元性向は約93%**

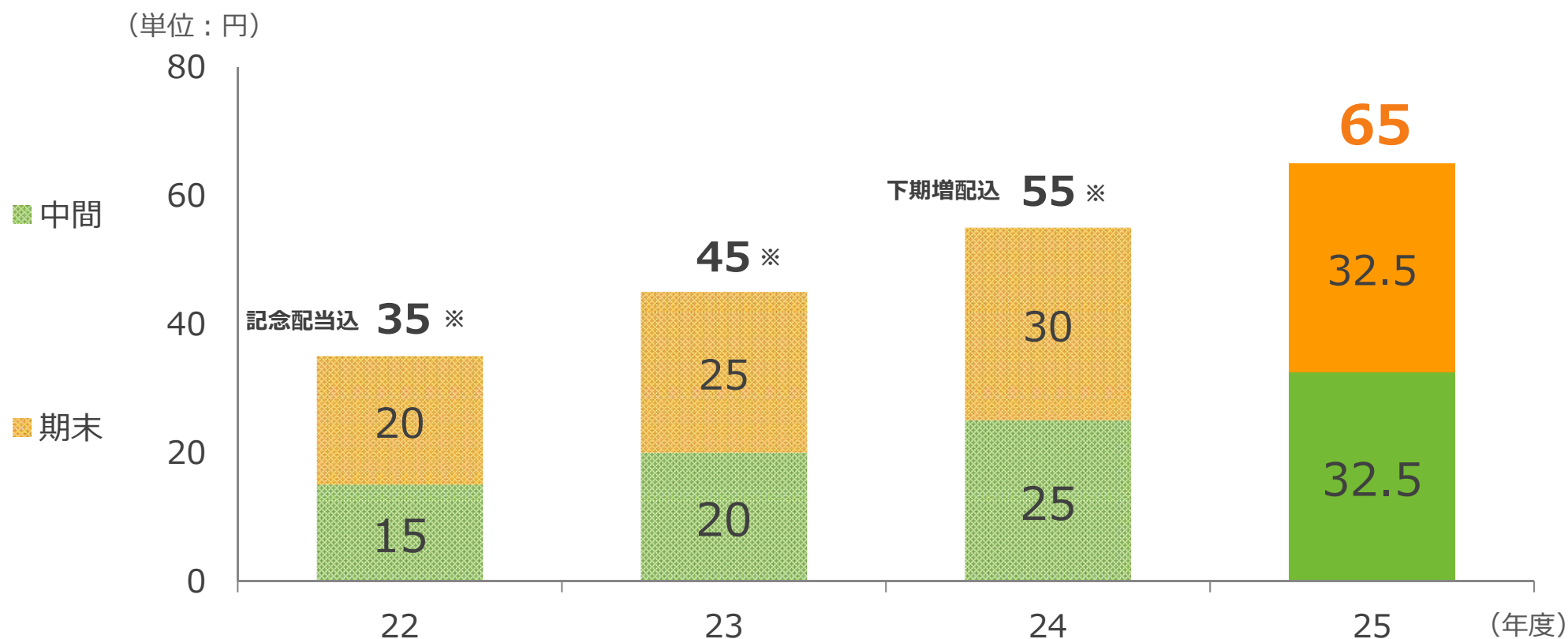


配当性向	23.9	13.1	21.6	24.6	24.9	28.2
DOE（株主資本配当率）	2.4	2.6	3.2	2.8	3.3	3.6

(単位：%)

(参考) 配当金の予想：株式分割後

- 2025年度：通期計65円/株（株式分割未考慮の場合130円/株）を予定
配当性向は31.2%を見込む



配当性向	24.6	24.9	28.2	31.2
DOE (株主資本配当率)	2.8	3.3	3.6	—

※2025年3月1日付で1株につき2株の株式分割を行ったため、株式分割後の割合で参考記載

(単位：%)

2024年度に行った資本政策①

政策保有株式の売却意向への対応

自己株式の公開買付

【2024年10月8日～11月6日】

**買付
株式数**

約367万株
(株式分割前)

自己株式を除く
発行済株式総数
に対する割合

約8%

流動性の向上

自己株式の消却

【2025年5月30日】

**消却した
株式数**

約840万株
(分割前基準：420万株)

消却前の発行済
株式総数に対す
る割合

約8.5%

**【当社の資本効率の向上】
【株主の皆様に対する利益還元】**

2024年度に行った資本政策②

株式分割

目的

- 投資単位当たりの金額を引き下げ
- 投資しやすい環境の整備

内容

- 普通株式1株につき、2株の割合をもって分割

【株式の流動性向上】
【投資家層の拡大】

2024年度に行った資本政策③

株主優待の新設

(詳細はライフコーポレーションのホームページをご覧ください)

【 2025年2月28日以降の年度末日を基準日として新設】

Aコース

ライフ商品券



Bコース

PB商品詰め合わせセット



Cコース

社会貢献活動団体へ寄付

公益財団法人
スペシャルオリンピックス日本

認定NPO法人
全国こども食堂支援センター・むすびえ

日本赤十字社

お買い物を通じ事業に対するご理解を一層深め、
当社の更なるファンとなっていきたい

市場環境の変化

貯蓄から投資へ（新NISAスタート）

資本コストや株価を意識した経営

経営理念に基づく考え

株主様・投資家の皆様、お客様、お取引先様、従業員などステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを一層強化し持続可能で豊かな社会の実現に貢献

取り組んできたこと・考え方

上場以来減配せず、
安定した配当を実現

成長に向けて
しっかり投資を行いつつ
株主への還元に注力

地域密着の
スーパーマーケットとして、
更に多くの皆様が株主となり
ライフのファンになって
いただきたい

狙い

一層の
株主還元

資本効率向上

投資家層の
拡大

取り組み

被政策保有株式を
大規模自社株買いで対応

2025年4月発表

過去最高の配当・
安定的な配当

2025年5月発表

大規模な自社株の消却

ROICでのモニタリング
資本コストの見直し

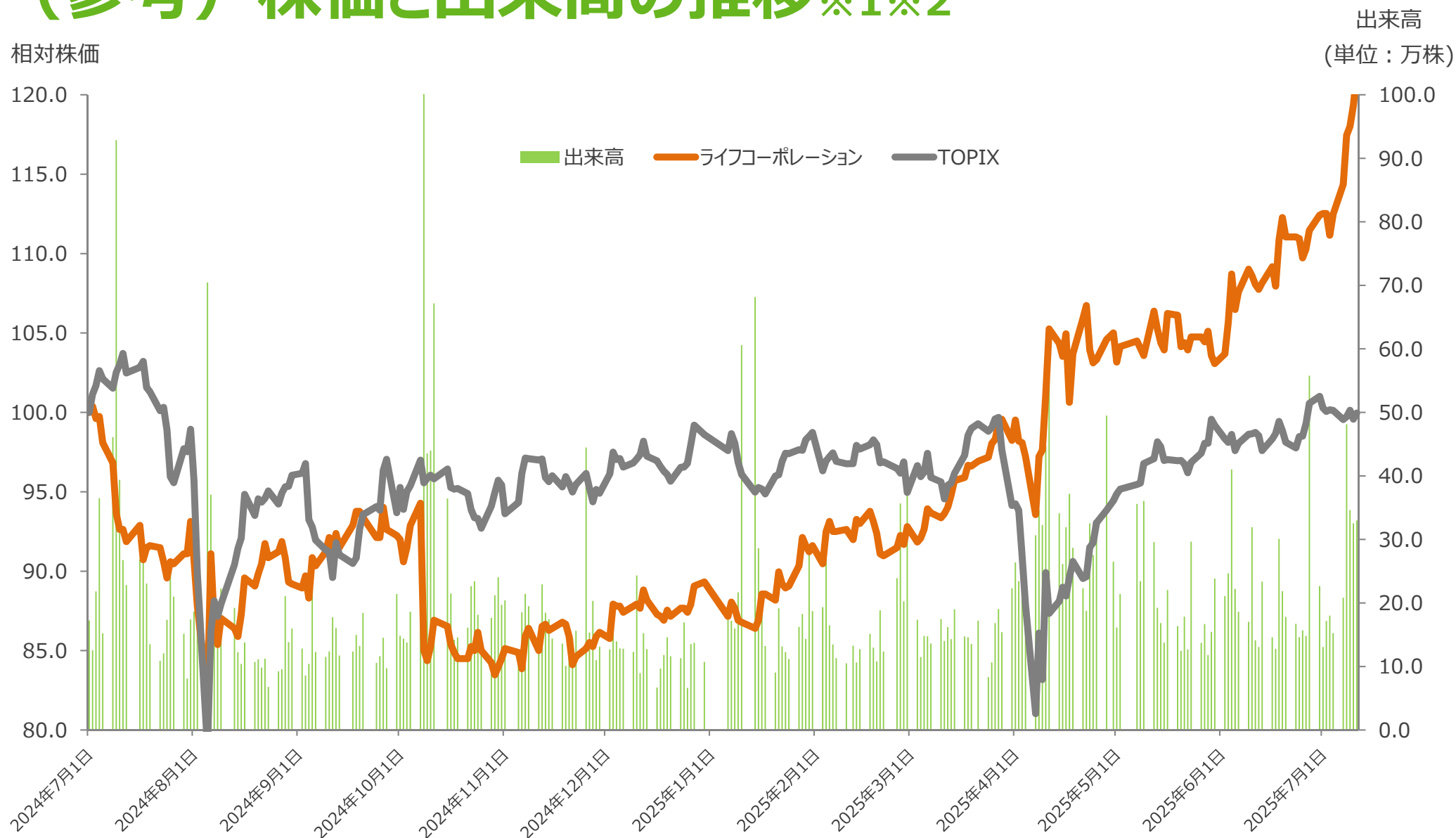
2025年1月発表

New
株式分割

2025年1月発表

New
株主優待
の新設

(参考) 株価と出来高の推移※1※2



※1：2025年3月1日付で1株につき2株の株式分割を実施。分割前の株価と出来高は株式分割後の割合で参考記載

※2：株価の推移は2024年7月1日を100として記載

(参考) 経営指標：年度末の実績

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ROE(%)	10.2	10.0	19.9	14.6	11.5	13.1	13.0
ROA(%)	5.4	5.7	10.6	8.8	7.3	8.8	8.8
ROIC(%)	5.6	6.3	11.5	8.9	7.4	9.3	8.7
PER(倍)	15.7	14.1	8.3	9.4	9.7	10.7	9.4
PBR(倍)	1.5	1.4	1.5	1.3	1.1	1.3	1.1

(参考) 株主・投資家情報

■ 当社ホームページで様々なIR情報を掲載しています。

ライフ IR

検索



IR情報
ライフの経営・業績動向に関する情報

2025/7/7 業績推移・月次情報（2025年6月度分）を更新しました。

2025/6/16 2026年2月期第1四半期決算発表日は7月8日（火）11時30分を予定しております。

2025/1/10 株主優待制度を新設しました。

IRニュース
 IRライブラリ
 IR Library (English)
 統合報告書

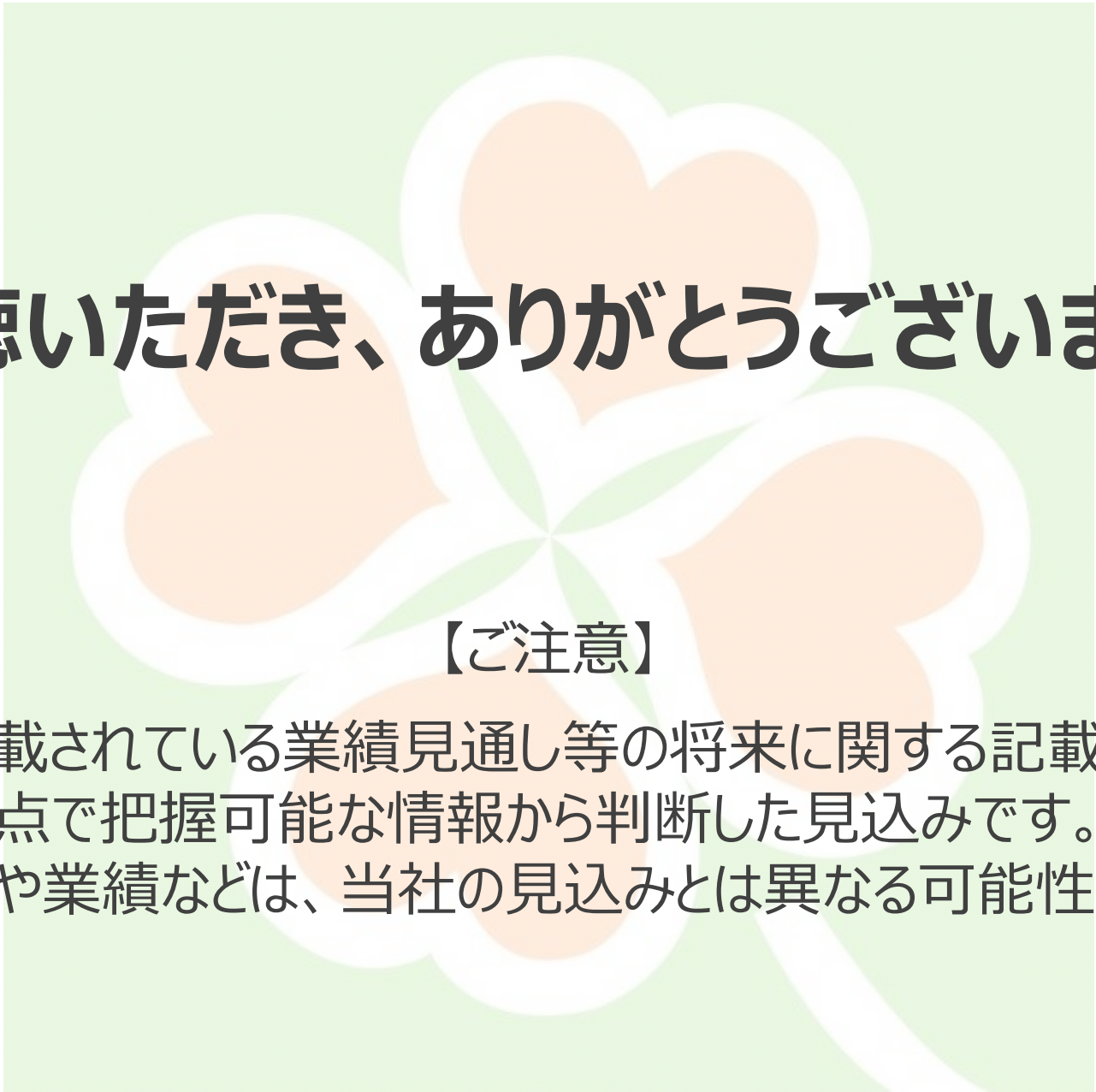
業績推移
 株主優待
 株主優待詳細

IR情報TOP / IRニュース / IRライブラリ / IR Library (English) / 統合報告書 / 業績推移 / 株主優待

ライフ

統合報告書
2024
[2024年2月期]

For a sustainable & happy Life



ご清聴いただき、ありがとうございました。

【ご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した見込みです。実際の成果や業績などは、当社の見込みとは異なる可能性があります。